様式３(2020.08改)

作成日　令和3年11月29日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370400976
事業所名	グループホーム円頓寺

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	自治会長や民生委員が運営推進会議に参加し、地域情報が得られている。 地域の幼稚園とは、移設前からの「やきいも交流」を継続している。 近隣の小学校・中学校からも福祉体験を受け入れるなど、良好な地域交流が継続している。 介護の日を前に、CBCラジオで認知症やホームの紹介などの放送収録に参加した。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ感染対策を万全にして、2ヶ月毎に地域住民やいきいき支援センター（地域包括支援センター）も参加して対面の運営推進会議を開催している。 直近では、消防署員も参加して会議内で消化訓練を実施し、助言・アドバイスを得ている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	生活保護者や障害者も利用しており、各種手続きで担当窓口に出向いたり、担当者も訪問するなど良好な協力関係を継続している。 社会福祉協議会からの声掛けがあり、利用者が作品展に出品するための作品づくりを進めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	運営推進会議には家族代表が毎回参加し、家族の立場で発言している。 利用者家族には、毎月個別に利用者の近況を「お便り」にて報告している。 面会時や連絡時には、個別に意見や要望を聞き取るとともに、SNSを利用して利用者の近況を報告し、意見・要望の出し易い環境づくりにも取り組んでいる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

紙面開催はせず感染防止対策を施し、参加人数を徐々に増やすなど工夫して毎回対面での開催を実施している。地域から自治会長は毎回参加。緊急事態解除後は、いきいき支援センターや他施設の管理者、地域ボランティアも参加している。直近では、消防署職員や消防団ＯＢも参加して運営推進会議内で消防訓練（通報・初期消火・避難誘導等）を実施している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○									